

24 ヨハネ 8 章 12-20

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

2、(12)「イエスは再び人々に語られた」とありますが、どんな人々に語られたのでしょうか？(8:2)

※次の御言葉を書き出してみましょう。(マタイ 7:7)

箴言 8:17

エレミヤ 29:13

3、イエス様が、聞こうとして近寄ってきた人たちに語ったことばを書き出してみましょう。(12)

・イエス様は他にも「わたしは…である」という表現でご自分を表しました。書き出してみましょう。

ヨハネ 6:48

ヨハネ 7:38 (4:14)

※これはギリシャ語で「エゴ・エイミー」と言って、旧約聖書では神様がご自分を指して語られる時に使われている言葉です。「わたしはあるという者」(出エジプト 3:13,14)。ですから、これは「わたしは神である」と同義語の表現なのです。

※もう一つ、イエス様の時代には「仮庵の祭り」の最終日には、シロアムの井戸の水を祭壇に捧げることがなされ、神殿の庭には大燭台に灯がともされ、「神殿の照明の儀式」が夜を徹して朝まで続いていたそうです。それが「誰でも渴いているなら…」という呼びかけの元になり、「わたしは世の光です」という教えになったという説明もあります。

4、イエス様の言葉を聞いて「あなたは自分のことを証しているのに、あなたの証は真実ではない」と言って来た人がいました。何を根拠にそう言って来たのでしょうか。(申命記 17:6)

5、それに対してイエス様は、自分の証言の正当性を三つのことで説明しました。それはどんなものですか？

① (14)

※私たちは、イエス様がどこから来て、どこへ行かれたか知っているのでしょうか？そしてそのことを本当に信じているのでしょうか？(また私たち自身もどこから来て、どこへ行くか証できますか?)

② (15)

※「あなたがたは肉によってさばき」…とはどういうものなのでしょうか？(15 注釈を参考)

・自分たち、「人間的判断で」裁いたりしてないでしょうか？

③ (16、18)

6、私たちが聖書を通してイエス様を知り、祈りを通して語り合っているなら、誰のことを知り、語り合っているのと同じとされていますか？(19)

7、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？